

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-69857

(P2001-69857A)

(43) 公開日 平成13年3月21日 (2001.3.21)

(51) IntCl.	識別記号	F I	テーマコード (参考)
A 0 1 G 9/02		A 0 1 G 9/02	C 2 B 0 2 7
			E
27/00	5 0 3	27/00	5 0 3 C

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-250216

(22) 出願日 平成11年9月3日 (1999.9.3)

(71) 出願人 000253400

般木商事有限会社

神奈川県藤沢市亀井野403番地

(72) 発明者 般木 亮亮

神奈川県藤沢市亀井野403番地

(72) 発明者 神山 和士

神奈川県大和市上草柳184-12 ウィング

ファミリー303

(74) 代理人 100068607

弁理士 早川 政名 (外3名)

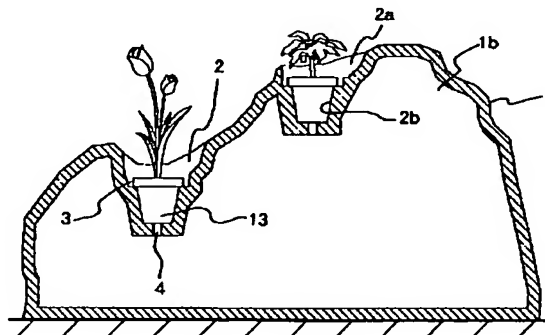
Fターム (参考) 2B027 ND17 NE01 TA04 TA23 TC13
UA09 UA28 UA30

(54) 【発明の名称】 植栽擬岩

(57) 【要約】

【課題】 意匠性が良く、しかも、植物の取り替えが容易である植栽擬岩を提供すること。

【解決手段】 自然石に近似した外観を備えた植栽擬岩において、内部を中空部1bとすると共に、擬岩本体1表面に一又は複数の凹部2を設け、この凹部2は植木鉢13を収納可能な態様に形成したこと。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 自然石に近似した外観を備えた植栽擬岩において、内部を中空部とすると共に、擬岩本体表面に一又は複数の凹部を設け、この凹部は植木鉢を収納可能な態様に形成したことを特徴とする植栽擬岩。

【請求項2】 凹部を、植木鉢を収納した状態で、一見して鉢が見えない態様に形成してあることを特徴とする請求項1記載の植栽擬岩。

【請求項3】 擬岩本体底面にキャスターなどの移動手段を設けたことを特徴とする請求項1または2記載の植栽擬岩。

【請求項4】 中空部に用具収納部を設けたことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項記載の植栽擬岩。

【請求項5】 擬岩本体の中空部に灌水タンク及び給水ポンプを設け、この給水ポンプの働きにより灌水タンクから給水系を経て凹部内の植木鉢へ灌水可能に形成してあることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項記載の植栽擬岩。

【請求項6】 給水ポンプの電源としての太陽電池を備えていることを特徴とする請求項5記載の植栽擬岩。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は表面が自然石状を呈していて且つ植物が自然に着床して生育しているが如く観賞可能である植栽擬岩に関する。

【0002】

【従来の技術】庭先などを植物で彩る場合、一般的には複数の植物を植え込んだ適宜数のプランターを見栄えするように適当に配置して行なっている。また、観賞用に美観に優れたものとして、特開平8-94号（以下、先行例と称す）が提案されている。この先行例は、防水性の合成樹脂で所定形状の中詰体を形成し、この中詰体内に保水材を充填すると共に、自然石表面に近似したテクスチャーの表面形成材を外面に取着してなる擬岩本体を備え、擬岩本体における表面形成材の取着部分に一若しくはそれ以上の植栽用凹部を設け、この凹部に開設した通孔を介して中詰体の内部と外部とが連通しているものである。しかし、かかる先行例のものには次の問題がある。凹部に植物を植えつけるために、花が散った場合や枯れてしまった場合、植え替え作業に手間がかかる。小苗を植えてから開花するまでに相当の期間を要するため、開花するまでの間、彩りが寂しい。植物を植えた後は、土の重みと水を吸収した保水材の重みで全体が重くなり、設置場所を変更したい場合に運ぶのが困難である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする課題は、第1には、意匠性が良く、しかも、植物の取り替えが容易である植栽擬岩を、第2には、さらに、鉢が見えずに自然のままの趣を呈する植栽擬岩を、第3には、さ

らに、移動が容易である植栽擬岩を、第4には、さらに、用具まで収納可能な植栽擬岩を、第5には、さらに、水遣りの手間を必要としない植栽擬岩を、第6には、さらに、省エネタイプで環境にやさしい植栽擬岩を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は前記した課題を達成するために、自然石に近似した外観を備えた植栽擬岩において、内部を中空部とすると共に、擬岩本体表面に一又は複数の凹部を設け、この凹部は植木鉢を収納可能な態様に形成したことを特徴とする。また本発明では、凹部を、植木鉢を収納した状態で、一見して鉢が見えない態様に形成してあることを特徴とする。また本発明では、擬岩本体底面にキャスターなどの移動手段を設けたことを特徴とする。また本発明では、中空部に用具収納部を設けたことを特徴とする。また本発明では、擬岩本体の中空部に灌水タンク及び給水ポンプを設け、この給水ポンプの働きにより灌水タンクから給水系を経て凹部内の植木鉢へ灌水可能に形成してあることを特徴とする。また本発明では、給水ポンプの電源としての太陽電池を備えていることを特徴とする。

【0005】擬岩本体の材質は、天然石の質感があって且つ軽量であれば良く、特に限定されない。凹部の態様は、美観及び鉢の安定性が優先され、鉢全体が収納される程度であれば良い。凹部の擬岩に対する姿勢は、上向きに開口した態様、斜め上向きに開口した態様、鉢が抜け落ちない程度の横向きに開口した態様、のいずれであっても良く、凹部の穴形状は、円筒形状、角筒形状、錐形状、のいずれでも良い。また、凹部の底面には水抜き孔を設けるようにしても良い。この凹部は、凹部に収められる鉢が一見して見えないように、擬岩表面から一段低くした段部中央に形成するようにしても良いし、鉢が出し入れし易いように、凹部と鉢上縁部との間に指が入る程度の隙間を確保した態様にしても良い。また、使用に際して、鉢を入れない凹部には擬岩本体と同質の外観構成或いは異質外観構成の蓋を被せるようにしても良い。キャスターなどの移動手段は、外観上見えないように配設するのが望ましく、また、設置後に誤って移動したりしないように固定手段を備えるのが良い。固定手段としては、キャスターに予め備えられたストッパーである態様のものであっても良いし、移動後に用いる別の車止めであっても良い。このキャスターは、車輪タイプ、球タイプ等、公知のキャスターであれば良い。灌水タンクは、できるだけ容量の大きいものが良く、多量の灌水を貯められるようにする。給水ポンプには、タイマーを接続させて、気候条件に応じて最適な量の灌水を一定時間毎に供給し得るようにしても良い。太陽電池は擬岩本体における目立たない部位に配設するのが望ましく、離れて設置される関係の態様であっても良い。また、太陽電池は、パネル面が角度調整可能なものが良い。さら

に、蓄電池を併設して、必要時に電力を供給し得るよう
にしても良い。

【0006】

【発明の実施の形態】図1及び図2には本発明の植栽擬岩における実施の1形態を例示しており、擬岩本体1は、自然石に近似した外観を備えていると共に、内部に中空部1bを形成している。そして、擬岩本体1における外表面1aの適宜個所には複数の凹部2を設けている。この凹部2は、植木鉢13を収納可能な大きさの態様に形成していると共に、植木鉢13を収納した状態で一見して鉢が見えない深さおよび形状の態様に形成している。また、凹部2は、擬岩本体1外表面から一段低い段部分2aと、段部分2a中央の穴部分2bからなり、段部分2aは、凹部2に収められる植木鉢13が一見して見えない深さに形成してあると共に、段部分2a内周面と植木鉢13上縁部との間に指が入る程度の隙間3が確保される内径に形成して、植木鉢13を出し入れし易いようにしている。凹部2の底部には水抜き穴4を形成していて、凹部2内に灌水が溜まらないようにしている。また、凹部2は、図3に例示しているように、穴部分2bに底が無い態様にしても良い。

【0007】図4には本発明の植栽擬岩における実施の他の1形態を例示しており、構成は前記した図1の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明は符合を準用して省略し、相違する構成について説明する。擬岩本体1は、底面部1cにキャスト5を配設してあると共に、擬岩本体1の外表面1a下縁にはスカート部1dを垂設してキャスト5が隠れるようにしている。

【0008】図5には本発明の植栽擬岩における実施の他の1形態を例示しており、構成は前記した図1の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明は符合を準用して省略し、相違する構成について説明する。擬岩本体1は背面側を開口形成して、中空部1bに灌水タンク6及び給水ポンプ7を設け、この給水ポンプ7の運転とともに灌水タンク6から給水系8を経て凹部2内の植木鉢13へ灌水し得るように形成してある。灌水タンク6への給水は、図示した凹部2底部の水抜き穴4を通じて行なう態様に限定されず、擬岩本体1における開口状の背面側から行なう態様、さらには、外表面1aに形成する専用の給水口（図示せず）から行なう態様であっても良い。給水ポンプ7には電源としての太陽電池9が接続しており、この太陽電池9は、ベランダ等へ取り付けられる取付金具10に角度調整可能に軸着されていて、最適な発電効率が得られるようにしている。

【0009】図6には本発明の植栽假岩における実施の他の1形態を例示しており、構成は前記した図5の態様のものと基本的に同一であるため、共通している構成の説明は符合を準用して省略し、相違する構成について説明する。假岩本体1は底面部1cを、キャスト5付きの

底板11で形成している。底板11は擬岩本体1に対して着脱可能にしてあると共に、底板上面には灌水タンク6及び給水ポンプ7を設置して、この給水ポンプ7の運転にともない灌水タンク6から給水系8を経て凹部2内の植木鉢13へ灌水し得るように形成してある。そして、中空部1bには用具収納部12を設ける一方で、給水ポンプ7には電源としての太陽電池9が接続しており、この太陽電池9は、外表面1aにおける適宜個所に角度調整可能に止着されていて、最適な発電効率が得られるようにしている。

【0010】

【発明の効果】A. 請求項1により、自然石の質感を備え、美観に優れている。そのときの気分で植物を取り替えられる。万一、枯らしてしまっても、植え替えが鉢毎に行ない得るので、枯れたものだけ取り替えれば良く、常に美観を良好に保つことができる。内部が中空で軽量なので、庭先などのデザイン変更に合わせて擬岩を容易に配置換えできる。

B. 請求項2により、さらに、鉢が見えないので、自然の趣を損なうことがない。

C. 請求項3により、さらに、鉢を設置してタンクに水を貯めた後でも、移動手段を設けることにより、配置換えが容易に行なえる。店舗などにおいては、日中は店頭に出し、閉店後はそのまま店内に収容できるので店頭準備の手間が大幅に省ける（盗難防止にもなる）。

D. 請求項4により、さらに、用具を収納するスペースを新たに設ける必要がない。E. 請求項5により、さらに、水遣りの手間が減少する。F. 請求項6により、さらに、電源に太陽電池を用いるので環境にやさしい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の植栽擬岩における実施の1形態を例示している正面図。

【図2】 縦断正面図。

【図3】 凹部の他の態様を例示している部分拡大縦断面図。

【図4】 本発明の植栽擬岩における実施の他の1形態を例示して縦断正面図。

【図5】 本発明の植栽擬岩における実施の他の1形態を例示して縦断正面図。

【図6】 本発明の植栽擬岩における実施の他の1形態を例示して縦断正面図。

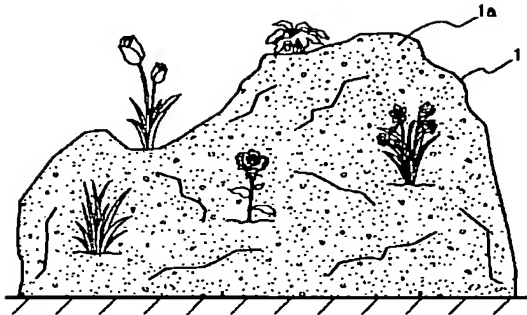
【符号の説明】

- 1 擬岩本体
1a 外表面
1b 中空部
1c 底面部
1d スカート部
2 凹部
2a 段部分
2b 穴部分

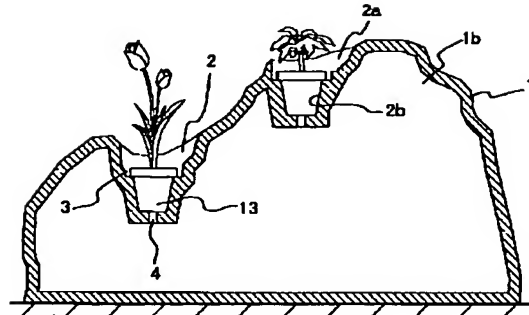
- 3 隙間
- 4 水抜き穴
- 5 キャスター
- 6 灌水タンク
- 7 給水ポンプ
- 8 給水系

- 9 太陽電池
- 10 取付金具
- 11 底板
- 12 用具収納部
- 13 植木鉢

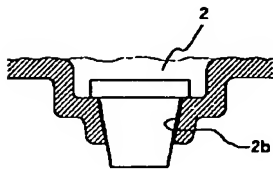
【図1】



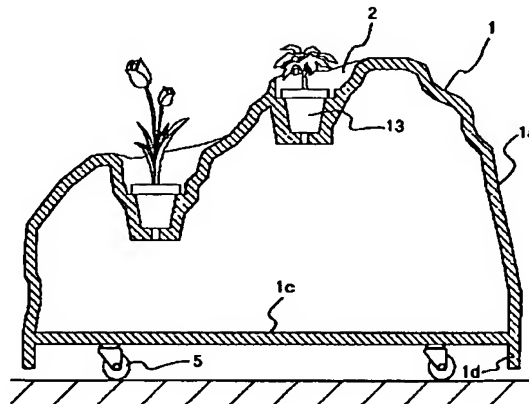
【図2】



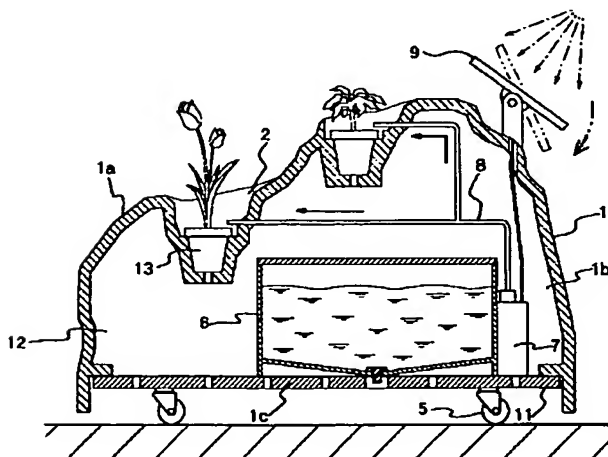
【図3】



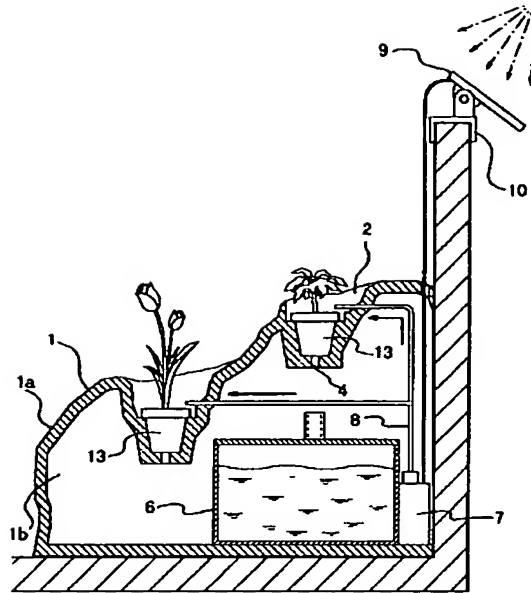
【図4】



【図6】



【図5】



PAT-NO: JP02001069857A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001069857 A

TITLE: IMITATION ROCK FOR CULTURING PLANT

PUBN-DATE: March 21, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUNAKI, RIYOURIYO	N/A
KAMIYAMA, KAZUSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUNAKI SHOJI KK	N/A

APPL-NO: JP11250216

APPL-DATE: September 3, 1999

INT-CL (IPC): A01G009/02, A01G027/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a plant-culturing imitation rock which has a good design and facilitates the change of plants by forming a hollow portion in the rock and disposing specific dent portions on the surface of the main body.

SOLUTION: This imitation rock for culturing plants has an appearance resembling a natural stone, and is obtained by forming a hollow portion 1b in

the rock and disposing one or more dent portions 2 on the surface of the rock main body 1. The dent portions 2 can receive flower pots 13 or the like. Therein, the dent portions 2 are preferably formed so that the received flower pots 13 can not be looked at a glance. Traveling means such as casters may be disposed on the bottom surface of the main body 1 of the imitation rock, and a tool storage space may further be disposed in the hollow portion 1b.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.